

学校 教育 目標	たがいにひびき合う学校(学び合う・認め合う・生かし合う)							
	○互いに学び合い、主体的に問題を解決していく力を伸ばし、自分の生き方をたくましく切り開いていく子を育てます。 (知) ○様々な人とのかかわりのなかで、互いに認め合い、共に高め合う子を育てます。(徳) ○自分や他者の生命を尊び、自ら健やかな体をつくる子を育てます。(体) ○地域の人やものとのかかわりを大切に、互いに認め合い共に生きる子を育てます。(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通じて、互いに生かし合う子を育てます。(開)							
学校 概要	創立 67 周年	学校長	山本 加奈代	副校長	足立 渉	2 学期制	一般学級: 18	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 630 人		主な関係校: 岩井原中学校 稲荷台小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岩井原中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	岩井原中学校 稲荷台小学校 富士見台小学 校	○相手の気持ちや立場を理解できる児童、生徒 ○人に対する優しさ、思いやりの気持ちをもつ児童、生徒 ・合同授業研究会を通して、授業改善や授業力向上、系統性の理解を図る。 ・合同研修会等を通して、児童・生徒の指導上の課題解決を目指す。 ・運動会やミュージックフェスタ等の行事を通して、児童と生徒の交流を促す。
<協働して課題解決する力> <言語能力・表現力> <自分づくりに関する力>		

中期 取組 目標	○活力と魅力にあふれた、地域と共に子どもを育む学校を創ります。 ・善しあしをわきまえ、社会のルールを守るなどの規範意識と礼儀を大切にする態度を育てていきます。 ・望ましい生活習慣を身に付け、進んで健康・体力づくりに取り組む姿勢を育てていきます。 ・「わかる」「楽しい」「集中できる」授業を展開し、問題解決的学習を重視しながら、思考力、判断力、表現力を高めていきます。 ・集団の一員としての居場所を確立し、他の人のために何かをしようとする姿勢を育てていきます。 ・様々な人とかかわる機会を増やし、視野を広げられるようにしていきます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知	①確かな学力の維持と向上をめざし、基礎基本の力の定着と共に、教材研究に引続き協同して取り組み、児童一人ひとりを大切にした授業の実践、及び少人数指導、教科担任制、のびのびルーム、国際教室を実施しながら、各教科でたがいの学び合いを進める。②思考力、判断力、表現力の育成と向上、加えて課題解決、主体的な表現の充実を図る。
担当 学習評価・重点研究推進	
豊かな心	①学級集団、学年集団の活動を基盤とした豊かな心の構築を図ると共に、他学年とのつながりであるペア活動を集会、行事、読み聞かせ等で展開、充実させていく。②保護者や地域の方々の協力、支援をいただきながら、自分たちの地域をより意識した活動を展開していくことで、自他を認め、自己肯定感、自己有用感を高めていく。
担当 児童指導・人権教育・道徳研究	
健やかな体	①体育科の学習に加え、遊びや体力づくりを通して、体を動かすことの楽しさや高揚感を感じる機会を定期的に設ける。②食育や保健の学習をていねいに行い、現在だけでなく、将来にわたって健康や運動に興味関心をもって取り組むことができる基盤づくりを継続していく。
担当 健やかな体実行委員会、保健・給食指導部	
児童生徒指導	①学校生活は、社会生活であることを念頭に置き、児童への理解と共感、支援と指導に努めるために、常に情報共有や組織的対応、保護者との連携だけでなく、関係機関との連携を進めていく。②児童指導や児童理解、支援につながる研修をさまざまな場面や機会を通して行い、相談活動の充実にも努める。
担当 児童指導推進委員会	
特別支援教育	①児童一人ひとりの特性をとらえ、活かすために少人数指導、教科担任制、のびのびルーム、国際教室等を引き続き積極的に活用していく。さらに情報共有、環境整備を引き続き進め、適切な支援や教育をより良い形で進めていく。②特別支援教育の理解と周知、関係機関との連携も進めていく。
担当 特別支援推進委員会	
地域連携	①学校教育目標や中期取組目標の実現のために、地域や保護者と連携しながら、より良い教育活動を展開していく。②学校だよりやHP、授業参観や懇談会、各種行事を通して情報発信を年間を通して行い、教育活動への理解と協力、支援をいただく。
担当 教務係・地域行事連絡調整	
学校運営協議会	①年間4回の学校運営協議会の開催を中心に、教育活動に対するさまざまな視点によるご意見をいただき、学校経営に反映させていく。②会議の場だけでなく、さまざまな機会や場面をとらえて、連携をより密にし、教職員だけでなく児童にとっても「地域と共にある学校づくり」を進めていく。
担当 学校運営協議会	
いじめへの対応	①年間を通して、相談活動やアンケートの実施を計画的に行い、児童一人ひとりの内面や心情の理解に努める。②そこで得られたことを学級担任だけでなく、組織対応に生かし、学校カウンセラー、関係機関との連携を行い、より良い対応に努める。③日頃から児童が自他を多角的多面的に捉えられるように発達段階に合わせた学習場面を設定する。
担当 いじめ対策防止委員会・人権教育委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①職員室を中心としたレイアウト改善を通して、働きやすい職場づくりを今後も計画的、発展的に進めることで、教職員のコミュニケーションを向上させ、創造的な職場づくりを進めていく。②働きやすい職場づくりから、計画的な人材育成を引き続き進めていく。 ③学年組織を越えたメンター・メンティーのペアによるコミュニティづくりの推進
担当 全教職員	